

編集後記

- いろいろな学校の保健室におじゃましますが、癒し系のぬいぐるみや観葉植物などが落ち着いたあたたかい雰囲気をつくり、保健室登校の子のためのスペースやクールダウンのためのコーナーなどがさりげなくほかの子の視線から遮られていることに気づくことがあります。「先生、聞いて～」とせわしなく話します子の相手をしてしながらも、養護教諭の視線はやわらかいけれど360度。教育相談は、子どもが保健室に入ったときから始まっているのだなあと感じます。
- 手のかかる子のケアに追われている先生を気遣って、話しかけたいのに我慢している子たちがいます。そのことに気づいて、「先生に話したいことを書くノート」をつくった担任がいました。相談教師とは、「気づいて動く」、そして「気づくために動く」先生なんだなあ、今号を読んで改めて思いました。(よ)

次号のお知らせ

- 特集1 部活動の指導に教育相談活動を活かす
運動部員が試合に臨む際に役立つメンタルトレーニングやリラクゼーション、部活の人間関係と思春期心身症の関係など、部活指導にも教育相談が役立ちます。
- 特集2 エゴグラムで子ども理解とかわりを深める
交流分析は、教育現場と相性のいい心理学だと言われています。その交流分析の基礎となるエゴグラムを、学校でどう活用するか、具体的に紹介します。



月刊学校教育相談

2010年 平成22年 6月号

定価680円(本体648円)

2010年6月1日発行

●発行所

ほんの森出版株式会社

〒145-0062

東京都大田区北千束3-16-11

電話 03-5754-3346

FAX 03-5918-8146

URL <http://www.honnomori.co.jp>

●編集企画 学校教育相談研究所


●発行人 兼弘陽子

●印刷所 研友社印刷(株)

ほんの森掲示板

- ・お待たせしました！ 森俊夫『教師とスクールカウンセラーのためのやさしい精神医学2 薬物依存・統合失調症・うつ病・不安障害編』が出来上がりました。詳しい内容とご注文は、「ほんの森出版」でご検索いただき、小社ホームページからどうぞ！
- ・4月から始まったリレー連載「授業と教育相談」は、考え方と具体的な実践をご紹介しますために、お1人の先生に3、4号連続でご執筆いただき、バトンタッチしていきます。8月号からは小林昭文先生です。

●本誌の2010年4月号からの1年間の誌代は10,920円です。(増刊号2冊を含みます) 振替口座 00140-4-768848
雑誌・書籍のご注文は書店もしくは直接小社にどうぞ。
本誌定期購読の場合は送料サービス。書籍・バックナンバーのご注文は1冊につき送料100円(3冊以上送料サービス)でお送りします。お支払いは送本時同封の郵便振替用紙で。

● **文書ファイル配布** ページ下にこのマークが入っている
☆詳しくは奥付を！ 資料のワードかー太郎の文書ファイルをご希望の方は、小社ホームページからご連絡ください。

ほんの森出版

検索